

好きやねん湖東

第8号



節分



福は内！！

押立神社（北菩提寺町）の節分祭が2月3日に行われ、昭和21年生まれの年男、年女の方々15名が、豆と餅をまきました。この日は好天に恵まれ、多くの人たちが訪れましたが、第二幼稚園の園児たち35名も、歓声をあげながら、福豆と餅を求めています。



押立神社

押立郷（おしたてごう）の総氏神（そうじじがみ）で、「大宮さん」の名で親しまれており、開基は奈良時代後期といわれ、火産霊神（ほうぶすながみ）と伊弉册美命（いざなみのみこと）を祀っています。

南北朝時代に建立された大門と本殿は、どちらも国指定の重要文化財になっています。



溜池の保全・再生を劇で発表

大沢町が琵琶湖博物館で

溜池の保全や再生について考える滋賀県主催のフォーラムが、1月21日、県立琵琶湖博物館で開かれ、大沢町の人たちが「淳史くんの溜池たんけん」という劇などで発表しました。

この劇では、福田淳史さんが扮する地元の大学生が、おじいさん役の野村源一郎さんなどから、八楽溜でのオオギ漁や昔のことを聞いたり、自ら体験したりしていくうちに、溜池の大切さや「暮らしの知恵」や「地域の知恵」を学んでいくという筋書きになっており、実際に行われた滋賀県立大学などによる「溜池探検」の内容も取り入れました。

舞台ではオオギを使っての魚つかみや、昔から行われてきた溜池の補修工事である「地づき」の様子を再現してみせました。

また、劇のあとに行われた「地域ぐるみでの溜池の再生・保全」に関するパネルディスカッションでも、大沢では今も八楽溜の水を有効に利用しているほか、住民がみんなで溜池を大切に守り、地域の活性化や交流活動にも生かしていることを、写真などを使って発表しました。

詳しくは、大沢町のホームページをごらんください。(野村)

<http://www.koto-kcn.jp/user/oozawa/>



スポ根物語 剣道編!

今回は、剣道スポーツ少年団におじゃましました。

寒さの厳しい日でしたが、武道館からは、小学校1年生から6年生までの気合の入ったかけ声が聞こえていました。

指導者の3名の方に、お話を伺いました。

“剣道の基本は「礼」に始まり「礼」に終わると言われますが、「礼」という字は、昔は「禮」と書き、これは「示す」と「豊か」を表し、「礼」とは、自分の心の豊かさを示すものです。剣道では、そういう心を育み、豊かな心の人に育ってほしい”

“夏は暑く、冬は寒いという厳しい練習の中にも、日々の稽古をおこたらない事、我慢するという事が自然と心と体を育てる事につながるのではないのでしょうか。”

“緊張ばかりの練習ではなく、楽しんでもらいたいという思いから、めりはりをつけた練習をしていきたい、そして厳しい中にもスポーツの楽しさを見つけてもらえたら嬉しいし、それぞれに楽しみ方があるのでその子に応じたやり方で長く続けてほしい”

と話しておられました。

子どもたちに剣道を始めたきっかけは?と聞いてみると、

“お兄ちゃんが習っていて、格好よかったから”

と、楽しそうに話してくれました。

保護者の方も、よく練習を見に来られているようで、

“子どもが、剣道を始めてから風邪をひきにくくなり、挨拶もしっかり出来るようになってうれしい”

ということでした。

これからも、【指導者の方の思い】【子供たちの頑張り】【保護者の方の応援】が、ひとつになり心の豊かな、子どもたちが育ってくれる事を願っています。(高野)



今月のごちそう

この人を紹介

～世界のごちそう～ “スウェーデン”

今回は、1月22日(日)に、湖東保健センターで開かれた、湖東国際交流協会のスウェーデン料理教室で、神戸市在住の斉藤セシリアさんに教えていただいた家庭料理を紹介します。

「Pork with apples & prunes」

<材料(5人分)>

豚肉(ロース)薄切り	20枚
種抜きプルーン	8個
りんご	1+1/4個
ジンジャーパウダー	小さじ1
塩、胡椒	少々
サラダ油	大さじ1
しょうゆ	大さじ2
日本酒	大さじ10



<作り方>

1. プルーンをそれぞれ3等分する。
 2. りんごは皮をむき、くし形に切る(16等分)。
 3. 一枚の豚肉の広い方の端に、りんごとプルーンを一切れずつのせて巻く。
 4. フライパンを火にかけ、サラダ油をひき、3の豚肉巻の脂肪が多い方を下にして焼く。
 5. ジンジャーパウダー(しょうがの粉)を半量ふりかける。
 6. 塩と胡椒(できれば挽きたて)をふる。
 7. 豚肉巻を裏返し、ジンジャーパウダーと塩、胡椒をかける。
 8. 豚肉が焼けたら、しょうゆを加え、酒を少しずつ加える。
 9. ふたをして、5分間で、できあがり!!
- できれば、小さくて新鮮なじゃがいも(皮付き)やアスパラガスなどの野菜の塩ゆでを添えて温かいうちに召し上がって下さい。

(板倉)

藤細工の 名人を 訪ねて



【工房 F・W・C・C】

福島 武義さん(65歳)



今回は、手作り工房をされている、福島武義さん(勝堂町)をお訪ねしました。

福島さんが、藤細工を始められたきっかけは、職場を退職したのち、葉刈りの手伝いをしていたところ、そこでいただいた枝や蔓で何か作れないかと考えて、小さなベンチなどを最初に作られたのが始まりだそうです。

そこへ、人形作家の妹さんが興味を持たれ、今では福島さんと妹さんのコラボレーションで個展も開かれているそうです。

福島さんの作品は、ワイルドクラフト(手作り)で同じものに見えても何一つとして同じものはありません。自然の枝や蔓から作られる作品には、すべて個性があるのです。

手作りされたスタンドから漏れる光は、絶妙な明と影を作りだし、とても良い雰囲気をかもし出していました。

(小島)

協議会にゆーす

皆さんからの投稿

地区選出市議会議員との懇談会



去る、1月21日(土)湖東地区まちづくり協議会運営委員と湖東地区選出の市議会議員との懇談会を開催しました。

4名の市議会議員からは、今の東近江市が抱える問題など現況の説明があり、一方、運営委員からは、湖東のまちづくりに対して、議員の惜しみない協力を要請するなど、活発な意見交換をおこないました。

なお、懇談会は、今後も機会があればおこなうことを決めましたので、皆さんからの意見を事務局までお寄せ下さい。(西澤)

赤塚俳句会選

なぜなぜと兎の聞き返す根深汁

広田湖山

霜菊や法話の声のもつれがち

太田久一郎

雪晴れの鈴鹿を窓に眩しめり

福島豊子

さながらに切り絵の影や冬の月

中沢つね子

建具変え少しリッチに明けの春

野村和恵子



今月の注目！

全国高校サッカー選手権 全国制覇！

野洲高校 感動をありがとう 国領くん

1月9日、国立競技場で行われた、第84回全国高校サッカー選手権決勝戦で みごと全国制覇を達成した野洲高校。

個々の高い技術とパスをつなぐ独自のスタイルで、これまでの高校サッカーに一石を投じた野洲高校の中でディフェンス(守備陣)として、大活躍された 国領元雄さん(大清水町)にお話をうかがいました。

Q：サッカーの頂点、国立競技場の印象は？

A：入場行進の時、芝生はまるで「じゅうたん」のようで、ピッチに入ったときは、本当にシビれました。

Q：いつからサッカーを始めたのですか？

A：小3からスポーツ少年団に、中学からは、クラブチーム「セゾンFC」に入りました。近畿大会で優勝を逃したときに、「野洲高に入り、全国制覇をしよう」と仲間と誓い合いました。

Q：好きな選手、目標にする選手は？

A：イタリア代表のファビオ・カンナバーロ選手です。

Q：将来の夢は？

A：プレーを出来る限り続け、その後指導者になりたいです。

Q：大切なもの、好きな言葉は？

A：「セゾンFC」のユニフォームと、ユニフォームに書かれてある『Boys be ambitious』です。

Q：今回の全国制覇の事でご家族に何か話されましたか？

A：国立競技場から「18年間、大切に育てていただきありがとうございました。だからサッカーが出来ました。」と電話しました。

突然のインタビューにも快く答えていただいた国領さんは、18歳とは思えない落ち着きを持つ、礼儀正しい青年でした。

小さな頃からの夢をかなえた彼は、さらなる目標に向かって進まれることでしょう。(福田)



野洲高3年 DF 国領元雄さん



編集後記

皆さん、風邪をひいていませんか？

小生、今年に入ってから幾度となくひいています。

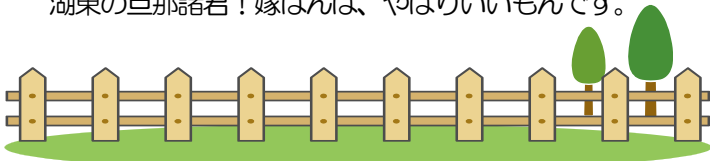
今回は、嫁はんに、“気がたるんでるんちがう！”

って言われる始末です。

ようやく今月号の編集にもメドがついたのに、“もっと、優しい言葉かけられんのか！”と一人怒りつつ早めに布団に入りました。

夜半、ふと気がつくとうん、大丈夫。熱ないみたいやし”と言う声とともに、嫁はんの手が私のおでこの上にありました。

その晩は、安心して寝たことに間違いはありません。湖東の旦那諸君！嫁はんは、やはりいいもんです。



<編集・発行>

湖東地区まちづくり協議会

(事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町 505 番地

東近江市 湖東支所 地域振興課内

TEL 45-3702 FAX 45-1570

E-mail : k-machikyo@koto-ken.jp



ことう健康・夢クラブからのお知らせ

ボーリング大会参加者募集

日時：平成18年3月5日(日) 9:45~

会場：愛知川ボール

募集人員：先着50名

参加費：クラブ会員 750円

会員以外 1000円

申込期限：2月27日(月)まで

詳しくは、湖東支所 湖東教育分室まで

TEL 45-3711

スキー・スノーボード教室を開催しました

1月21日(土)奥伊吹スキー場において、「スキー・スノーボード教室を開催しました。

参加者は総勢32名で、スキーやスノーボードをするのは初めてという人がほとんどでしたが、マンツーマンに近い午前中の講習が良かったのか、午後からはグループごとに思い思いの滑りを満喫されていました。スキーやスノーボードは今回が初めてという人からは、「もっと上達したい」、「もっと滑りに行きたい」などの感想をいただきました。(岡村)

